



二小を愛する心を受け継ごう

校長 小林 理人

1年生が6年生に感謝の気持ちを込めて贈る二小ミカンの収穫が間もなく始まります。

早いもので、「結実」の2学期も締めくくりの月となります。

先日行われた学芸会では、スローガンにある「みんなが主役」の言葉どおり、子供一人一人が持ち味や練習の成果を発揮し、私たちの心に残る最高の演技を見せてくれました。これまでの学習や生活で身に付けた力、心の成長などの「結実」を感じる学芸会となりました。保護者の皆様のご協力、子供たちへの温かい声かけ等のご支援に心から感謝申し上げます。

二小の「結実」は子供たちの心や身体の成長だけではありません。ミカンや柿、ぶどう、かりん、ゆず、胡桃等々、たくさんの実のなる樹木がこの2学期に「結実」を迎えます。そして、それらは子供たちの学校生活に潤いを与えると同時に、二小を愛する心を伝える実りでもあります。

二小のぶどう誕生の話

5年前、私が16代校長として二小に着任した年の出来事です。二小にぶどうの木を植えてくださった元校長先生からぶどうの剪定の仕方と以下のようなぶどうに関する詳しい話を教えていただきました。

ぶどうが甘い実を付けるためには、冬に強い剪定が必要なこと。二小のぶどうは、日本固有の山ぶどうをワイン製造用に改良した品種であり、地域の方からいただいたものであること。国立で誕生したワイン用のぶどうが全国のワインの産地に広がっていったこと。先生が二小を離れた後も、ぶどうの木の剪定を続けていること。

また同時に、二小の子供たちへの深い愛情と地域に対する強い誇りも感じました。私は、由緒ある二小のぶどうの味と二小を愛する心の子供たちに伝えるために、自分にもできることはないかと考え、「ぶどう屋さん」の開店を思い付きました。

昨年度、校舎の建て替えが決まり、ぶどう棚の西側に新しい校舎をつくることになりました。子供たちが楽しみにしている「ぶどう屋さん」も来年以降は開店できなくなるかもしれません。

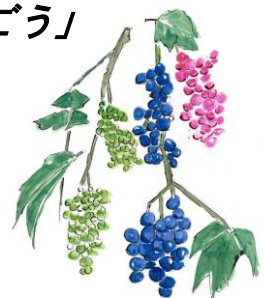
そこで、私が先生から受け継いだぶどうのことや二小を愛する心を、子供たちにも直接伝えてほしいとお願いしました。先生は、快く引き受けてくださり、子供たちに分かりやすく説明をするために、自ら絵筆をとり、ぶどうの成長を水彩で描いてくださいました。

12月2日(月)・開校記念朝会 「二小を愛する心を受け継ごう」

元校長先生をお迎えし、「葉っぱとブドー」という演題で子供たちに話をさせていただきます。先生の絵を見せていただきながら、ぶどうのことや、二小を愛する先生の心をしっかりと受け継ぎます。

また、先生は、お描きになった絵を一冊の絵本にまとめてくださいました。当日は、その絵本の紹介と子供たちへの贈呈も行います。

開校記念朝会は保護者の皆様にも公開いたします。子供たちと一緒に、ぶどうのお話を聞き、二小を愛する心を感じてみませんか。



<場所> 本校体育館

<時間> 8時20分～9時

※中央玄関よりお入りください。